

アンドレ・デュソリエ

ジェラルド・ランヴァン

ジャン＝ユーグ・アングラード

クリストファー・トンプソン

ダニエル・ジェラン

愛したいのに、愛されたいのに。
傷つけないのに、傷つきたくないのに。

疑いたくないのに、疑われたくないのに。
泣かせたくないのに、泣きたくないのに。

愛している。
愛している？

ころはいつも……

Un film de Elie Chouraqui

メテコリー

出演：アン・ヌーエルセル、アリスチャン・シャルムタン 脚本：タニエール・ドンブロン エリ・ジュカキ「LES MARMOTTES」音楽：ガブリエル・ヤレド 主題歌：エンゾ・エンゾ「パルレ」話じてごらん（サウンドトラック盤:BGMビクター）
撮影：ロベール・アラダック 編集：マルティネス・シュタルト 音編集：フランソワ・フジエリ 美術：バレン・セザンナ 衣裳：ミチコ・マツモト 製作主任：ジャン・ジャック・ヴァルメール 製作総指揮：ロベール・ベナムウサ
原案：アリオン・ネグロ 原作：TBS アリオン・ネグロ Co-producing with FILMS-UNION / Les Films de l'Union Française pour la Promotion du Cinéma et de la Télévision de France (LFPCTV) en partenariat avec CANAL +, SCIRPAC et CANAL + Partenaire des Jeux Olympiques 1992 à Albertville. © 1992 LFPCTV. Tous droits réservés.



恋人たちの絆はいつも不思議。
深い信頼で結ばれていたかと思うと、ほんの少しの猜疑心が
ふたりを取り返しのつかない事態へと導いてしまうことだってある。
心は常に愛情と憎しみの間を往来し、感情は喜怒哀楽の堂々巡り、
ついついメランコリック(憂鬱)な気分になってしまう。
クリスマスのシャモニーに集った5組の男と女。
彼らもまた、そんな恋の病におかされた気の毒な人たちなのだ。
「メランコリー」——それはビター・スイートな愛の物語。

クロード・ルレーシの再来
エリ・シユラキ監督作品
メランコリー



ジャクリーン・ビセットと アンドレ・デュソリエ

Jacqueline Bisset et André Dussollier

誰の目にも幸福に見えていたふたり。いえ、彼女もそのつもりだった。絵に描いたようなおしどり夫婦。でも、夫には愛人がいた……。

クリスティーヌ・ボワツソンと ジェラルド・ランヴェアン

Christine Boisson et Gérard Lanvin

彼女は愛することにも、愛されることにも自信が持てなかった。愛のない家庭に生まれた女。そして彼は、そんな彼女から逃げ出したかった。

マリー・トランティニャンと ジャン＝ユグ・アングラード

Marie Trintignant et Jean-Hughes Anglade

彼女は不完全。ちょっとイカれた女。いつも突拍子もない事件をしてかしては、彼を振り回している。でもそれもこれも、彼の気をひきたい一心なの。

ヴィルジニー・ルドワイヤンと クリストファー・トンプソン

Virginie Ledoyen et Christopher Thompson

彼女と彼は若い。希望に満ち溢れ、何もかもが輝かしい。些細な問題もいずれ解決し、心の傷も癒されるだろう。ふたりが従兄妹同志なんて、全然問題じゃない?

アヌーク・エメと ダニエル・ジェラン

Anouk Aimée et Daniel Gelin

彼女はずっと彼の愛人だった。日陰の女。何も望まずただ愛することだけに人生の大半を費やしてきた女。愛の意味とは何か。彼女だけがその答えを知っている。

La mélancolie

あらゆる世代の恋人たちが感涙! フランスで興行成績第一位を記録した話題の恋愛映画。

5/25(土)~6/7(金) ロードショー

12:00/2:10/4:20/6:30

前売一般=1,400円 前売学生=1,200円 (当日一般=1,700円 当日学生=1,400円)

ホワイティ泉の広場上がる 東へ5分
扇町ミュージアムスクエア
06・361・0088